

〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕

担当課・係名	教育総務課庶務教育係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号） 5 4 6 】
第4次総合計画の 該当項目	<input type="checkbox"/> 4節 <input type="checkbox"/> 1項 <input type="text" value="学校施設の設備充実"/>

業務の名称	学校施設の管理		
(1) 根拠法令・条例	学校施設の確保に関する政令、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律		
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 8.1 % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数：109.3 人・日 (臨時雇用者延人数：__人・日)		
(3) 事業費 (人件費分を除く)	58,460 千円 (平成20年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))		
(4) 補助率(補助金がある 場合のみ記載)	__ % (平成20年度実績)		
(5) 業務期間	開始した年度	年度	終了(予定)年度 年度

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

①業務目的 (達成目標)	児童生徒がいつでも安全に学校施設を利用できる環境を整える。
②業務が対象とする住 民 (地域、層)	小中学校の児童生徒及び教諭
③業務の具体的な実施 内容・方法 (平成20年度実績)	学校施設の保守管理、修繕工事、備品管理、施設台帳の作成。

保守管理等は順調に進んでいるが、修繕料などが年々増加している。

【業務結果の説明指標】

結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標
1	保守管理合計金額 (千円)	18,267	24,338	28,624	31,036	
2	修繕工事合計金額 (千円)	12,682	18,872	19,038	26,402	
3	備品購入合計金額 (千円)	40,576	50,436	37,928	39,612	
4						
5						

④業務の実施結果
(平成20年度実績)

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (簡条書きで簡潔に記載)

経年劣化し始めた施設が多くなってきたので、施設の見直し及び改修が必要となってきた。
年々増加している児童生徒数に対し、施設の不足が懸念される。

(8) 改善実績 (過去4年間の実績)	

(9) 業務の評価 (自己診断)		
評価基準	評価の視点	三段階評価 (2~0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	1点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	1点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	1点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	1点
⑤総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	1点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	1点
2点: 成果あり、適切だった 1点: ある程度適切だった 0点: 適切でなかった、遅れている		平均 1.0点

(10) 総合評価 (課の見解)	
①今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none"> ① 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続(業務の拡大) 3. 見直して継続(業務の縮小) 4. 見直して継続(方法の改善) 5. 見直して継続(他業務と統合) 6. 廃止する。 7. 休止する。
②評価理由	前年同様に破損箇所が出た場合については速やかに修繕等を行うこととする。保守管理についても前年同様に行い、早期に修繕箇所の発見に努めることとする。備品については必要なものを予算計上し、計画的に購入することとする。

(11) 今後の目標・改善方針 (具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)	
①改善目標	保守管理の中で修繕箇所を速やかに発見し、修繕する。
②改善時期	随時
③改善方法	保守管理を適正に実施する。